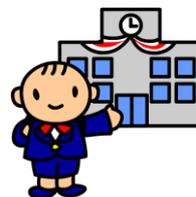


ご入学おめでとうございます

本年度入学生のみなさん、ご入学おめでとうございます。小学部 15 名、中学部 20 名、高等部本校 36 名、分教室 8 名の新しいお友達を迎えて、令和 7 年度がスタートしました。5 日（土）の本校の入学式では、在校生は同席しませんでした（今後、部ごとに 1 年生を迎える会を行います）、来賓の皆様もお迎えし、職員一同、心を込めて新年度準備をし、入学式を迎えることができました。本校は病院隣接ということもありますので、引き続き感染対策に心がけてまいります。保護者の皆様にも日頃からの健康観察や体調不良時のお迎え等、様々な面で協力いただきますが、今年度もご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



令和 7 年度 学校の概要

稲荷山養護学校は、稲荷山にある本校と更級農業高等学校内にある更級分教室の 2 つのキャンパスからなっています。本年度、本校の児童生徒は、小学部 105 名、中学部 75 名、高等部 116 名の計 296 名。更級分教室には高等部生徒 24 名が学んでいます。今年度の全校児童生徒は 320 名です。教職員数は学校看護師や事務職員等も含め 221 名。県内で一番大きな特別支援学校となっています。また、本校には寄宿舎があり、本年度は 20 名が通学保障あるいは教育目的等で入舎します。更に、隣接する稲荷山医療福祉センターから学校に通ってくる児童生徒も 16 名います。スクールバスは、長野便、南長野便、須坂便、新町便、上田便と 5 便が運行しています。

「明るく たくましく より豊かに」を学校目標に、自分の思いや願いを素直に表現し、その実現に向けて周囲と適切にかかわりながら、自ら精一杯取り組む子どもの育成を目指して日々の教育活動に取り組みます。教職員は規範となる人権感覚と特別支援教育の専門性をもち、子どもとともに成長し続ける教師であろうと心がけ、児童生徒や保護者の方が稲荷山養護学校で学んでよかったと思えるような教育実践を目指していきます。また、地域、近隣の学校が、本校がこの地域にあって良かったと思えるように、地域の幼稚園や保育所、小中学校や高等学校の求めに応じ、教育相談を実施し、地域の特別支援教育に寄与することができるようにセンター的機能を果たしていきます。

令和 8 年度 「稲荷山養護学校」から「稲荷山支援学校」へ



令和 8 年度から県内の特別支援学校の名称が変更になります（盲・ろう学校は除く）。それは、児童生徒等の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという特別支援教育の基本的な考え方をはじめ、地域における特別支援教育を推進するために小中高等学校等への積極的な支援を行う「センター的機能」を有する学校であることをより明確にするためです。また、共生社会の実現に向けて、個々の教育的ニーズに応じた必要な支援を行う学校という意味も込められています。

本年度開校 57 周年を迎える本校。「稲荷山養護学校」としての最後の年になります。安心安全で、笑顔いっぱいの学校生活となるよう、職員一同努めてまいります。

※ 今年度も学校生活の様子について、この紙面でお伝えしていきますのでよろしくご期待いたします（本校ホームページにも掲載します）。

稲荷山養護学校長 倉島 さつき